



自然と人間が共生するために、伐竹の再利用を通じ  
豊かな自然環境を保全する活動に貢献します

## 特定非営利活動法人竹取物語

渋川市



代表者：高橋廣司  
設立年月日：2009年9月24日  
従業員数：14人

住所：渋川市八木原 649-1  
TEL：0279-60-7723  
Mail：info@taketorimonogatari.org  
URL：http://taketorimonogatari.org



WEB サイト

### ● 事業者紹介

自然と人間が共生できる、豊かな自然環境を保全するため、2009年に特定非営利活動法人として設立しました。放置された竹林や里山、耕作放棄地などの整備保全活動や、竹・木材の新たな有効活用方法を研究し提案しています。



### ● 経緯・背景

近年、竹林や雑木林が荒廃の一途を辿り、里山の景観や機能が低下しつつあります。また、山間部だけでなく、市街地などでも荒廃した竹林が問題となっています。このような状況下で、いわゆる「竹公害」と呼ばれる環境被害が発生しています。私たちは、自然と人間が共生できる豊かな自然環境を保全するため、竹林伐採活動と発生した伐竹の再利用を通じて、環境の保全や里山の再生、農山村地域の活性化、市街地の安全に寄与する活動を行っています。

### ● 具体的な取組や成果

#### 荒廃した竹林や里山を再生する、地域の竹林整備団体として活動 伐採した竹や木材を用途別に加工し、多面的に利活用する仕組みを構築

- 竹林の整備活動
  - ・荒廃した竹林を伐採し、自走式破砕機で細かく破砕
- 竹の有効活用
  - ・伐竹の有効活用法を様々な角度から研究、実験
- 研究内容
  - ・チップ化した竹の炭化、利用
  - ・竹チップを用いた有機栽培
  - ・きのこ菌床栽培への利用等

地域のボランティアと協同し、県内一円で毎年竹林整備を行っています。地域の竹林整備団体として認知され、地域の荒廃した竹林や里山の再生に一定の成果を出しています。また、これまでの活動に対して、1997年に群馬県環境賞環境功績賞を、2020年には環境大臣より地域環境保全功労者表彰をいただくことができました。



参考：竹の有効活用（例）



参考：竹公害

#### 当社にとってのSDGsビジョン

##### 荒廃した里山・平地林の整備と、循環型社会の構築

荒廃した里山・平地林の整備活動や、排出される木材や竹材を再利用する仕組みの構築は、SDGsにおける目標15「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進」を実践するものであり、今後も循環型社会の実現に貢献していきたいと考えています。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

##### 竹を原料に用途別に利用する仕組みを一緒に構築したい

竹を原料とした加工品や肥料等の導入や開発を検討している方々と協働し、竹の用途や加工方法について研究していきたいです。